学校・団体

千葉市少年自然の家プログラム　自然観察

泥んこ遊び

場所	田んぼ
時間	2 時間
値段	無料
季節	4 月～10 月 要相談
人数	一度に入れる人数は 40 人程度 要相談

プログラムの概要・ねらい

田んぼの泥を利用し、泥んこ遊びをすることで土、水を肌に感じる体験ができる。

また、昔は子どもが田んぼで遊んで泥をかき回すことで、田植えの前に行う「代掻き」の役割も担っていたと言われている。

準備物

【利 用 者】活動に適した服装（汚れてもよい服装・水着可）、着替え、タオル、捨ててもよい靴下、ガムテープ、サンダル等、救急用品（靴下を捨てる場合は、ゴミ袋）

【自然の家】清掃道具（デッキブラシ、水切りなど）

①準備

汚れてもよい服装に着替え、タオルを別に準備する。泥の中で石や木を踏んでけがをしないように靴下を着用する。（右写真参照）（ハイソックスを履き、足首と膝下にガムテープを巻くと靴下が脱げにくい。裸足は厳禁。）事前に実施する場所を確認する。

泥んこ遊び場所：ふるさと田んぼゾーン「どろんこエリア」と看板がある湿生植物池となりの田んぼ。（写真①）

※田んぼゾーンまでの移動は、足が濡れたり汚れたりしても着用できるサンダルのようなものが便利。

※着替えは、予めリフレッシュセンターシャワー室又はピロティに置いておく。

②実施の流れ

活動例

〇泥んこリレー・かけっこ

グループ対抗のリレー競争をし、速さを競う。

または、かけっこを行い、順位を競う。（写真②）

〇泥んこバレーボール

ソフトバレーボールやビーチボールを使ってバレーをする。

ネットを使わない場合は、ラリーを何回続けられるかを競うのもよい。

〇泥んこドッジボール

やわらかいボールを使ってドッジボールを行う。

〇自由遊び（写真③）

泥に寝転がるなどして自由に過ごす。

①

②

③

※泥だらけになるので、暖かい季節であれば、水着で行うのもよい。

また、体に傷がある人や肌が弱い人は入らないよう注意する。

※気候や時期によっては寄生虫がいる可能性がある。

※泥が目に入った時は、畑の横の水道で充分に洗い流す。

※体操服では泥汚れが落とせずに、ずっと残ってしまう場合があるので考慮する。

※注意が必要な動植物があるので確認し、スズメバチや毒ヘビに遭遇した場合の注意を徹底する。

（別紙　注意が必要な動植物参照）

③後片付け

手の泥は、畑の横の水道で荷物を持てる程度に洗い流し、リフレッシュセンター1 階ピロティの足洗い場で体の泥をきれいに洗い流す。

※足洗い場では、泥水がピロティに流れないよう、流しの網の上で体を洗うことを徹底する。

その後、シャワー室を利用する。（泥を浴場内に持ち込むことを避けるため）

シャワー室を時間外に利用する場合はスタッフに相談する。（シャワー室基本利用時間　16:00～22:00）

※汚れた衣類は、大きなたらいなどで泥を落とした後、洗濯機の利用が可能である。

（洗剤は持参、もしくは売店で購入可）

※汚れた靴下を捨てる場合は、持参したゴミ袋に入れ、リフレッシュセンター棟ゴミ置き場に捨てる。

2025/03/01 改訂